

～第1回ワークショップ Q&A 一覧～

Q1	今回、天王通りや本町にお住まいの方の参加者は何名おられますか？
A1	参加者のお住まいを把握しておりませんが、 35名の方々 にご参加頂きました。
Q2	歩行者中心にするとどんなことが期待できますか？
A2	歩行者中心の道づくりによって、歩行空間が広がるので、歩行の 安全性が高くなり、安心して歩けるようになる ほか、「歩く」ことによる 健康的な生活習慣の定着 や、 高齢者の外出機会の創出 、日常の買物による周遊性が生まれ 地域経済が活性化 する事が上げられています。また、車社会では、買物や旅行など便利な点があげられますが、プライベート空間によりコミュニティの希薄化が上げられます。また、長期的には、「 歩行 」を中心とした まちづくり を広げる足掛かりになります。
Q3	天王通りも町家になっていくのですか？
A3	今後、ワークショップで話し合う内容となりますが、天王通りは、昭和時代に開通した道路です。 町家の印象はあまりない通り だと思います。
Q4	景観計画があったと聞きましたが、その当時計画はできたという事ですか？
A4	町並みについて検討したことはありますが、 景観計画の策定は、今回が初めて です。
Q5	単につくるだけではない、経済の循環に入った考え方をするのですか？
A5	景観への取組の効果として歩行者が増加し、 商店街が活性化することでの経済効果も一例としてある ことから、 商店街の方々とも協力 していきたいと考えております。
Q6	防災も含めて考えることは可能ですか？
A6	延焼防止対策など については、都市計画や建築の不燃化と合わせて考えることは可能です。
Q7	見直し期間（サイクル）は基準がありますか？
A7	基準はありません が、社会情勢の変化等に合せて、計画区域の変更や景観に関するルール、届出対象等について 必要に応じて見直し します。
Q8	ワークショップ参加者を集めるために、どんな努力をされましたか？
A8	今回はホームページやLINEを始めとする SNS、班回覧などの周知 のほか、 天王通りと本町筋沿道にお住まいの方々へポスティング を行いました。
Q9	過去のコンペの結果は、どのように反映されていますか？
A9	平成29、30年度に実施したワークショップの結果を反映 し、その内容を元に「津島駅周辺まちづくり構想案」を作成して事業を進めております。

Q10	景観計画で目指す目的（景観を高めてめざすもの）はなんですか？
A10	津島市では、2020年に津島市固有の歴史的風致を守り、育て、継承し、地域の活動の活性化につなげていくために、「津島市歴史的風致維持向上計画」を策定しました。景観計画は、この計画と合わせて、古い建物を保全しながら町並み全体の景観を整えていくことで、 津島市の魅力が高まり 、「住みたい」「行ってみたい」「店を出したい」などの人の営みにつながり、 町が賑わう ことです。
Q11	「30年前にも話があった」とのご説明がありましたが、当時の計画はどのようになっていたのでしょうか？
A11	約35年前の昭和63年に、町家の実態を把握する調査を行い、景観関連ワークショップを行っています。また、約20年前の平成14年度に本町筋、天王通りに関する調査を実施しております。その結果をもとにまちづくりを進めてきましたが、 景観計画のようなルールづくりは当時できませんでした 。
Q12	核となる施設（神社、いちい信金、駅前など）をもとに、町並みを形成したらどうでしょうか？
A12	津島駅や津島神社なども含め 町並みに調和するように考えていきます 。
Q13	そう簡単には変わらないだろうと諦めている人もいないでしょうか？
A13	町並みはすぐ変わるものではありませんが、ワークショップなどを通して 前向きに取り組めるように努めていきます 。
Q14	計画を立てるとしたら何年後をイメージしたら良いのでしょうか？
A14	町並みは少しずつ変化するものとなりますので、多くのまちづくり計画は10年後をイメージして作成します。景観計画も 10年後をイメージ しています。
Q15	景観計画＝建築制限のように感じましたが、ミスリードではないでしょうか？
A15	誤解を招いてしまったかもしれませんが、景観計画とは、 建築制限の規制による良好な景観づくりと、景観を活かすまちづくり を併せた町並みづくりのルールです。を行うことで、個性豊かな「つしま」の町並みが実現できるものと考えています。
Q16	知識のない私でもできることはなんですか？
A16	知識の有無は関係なく、 景観への想いがあれば誰でも 計画づくり、景観まちづくりに参加できます。
Q17	私にとって日常である津島のまちは当たり前の風景です。どんなことに目を向けると、景観・風景について考えられるのでしょうか？ また、津島の魅力に気付けるのでしょうか？
A17	ワークショップに参加して頂き、多くの方々と 話し合うことで津島の魅力に気づく こともできると思います。

Q18	景観づくりの際のコンセプトはなんですか？
A18	コンセプトは、 これまでのワークショップの結果や今年度のワークショップの結果を参考 にして決めていきます。現時点では、これまでのワークショップの結果より、 天王通りと本町筋を中心 に考え、天王通りでは津島駅近くの 駅前ゾーン 、 本町筋と交差する中央ゾーン 、 津島神社近くの神社ゾーン に区分してコンセプトづくりをしたいと考えております。
Q19	松山市の例は外観整備以外にはどんな取り組みがあったのでしょうか？
A19	地元商店街などと話し合い、 無電柱化 や2車線道路の 1車線化 などの 歩行者優先の道路空間 、 アーケード撤去 などの施策で良好な景観づくりを進めています。
Q20	津島駅から津島神社までの道路が都市計画では拡張計画になっていますが、将来見直しの計画はありますか？
A20	景観計画の策定とともに 拡張計画も見直す予定 です。
Q21	ルールは天王通りと本町筋のみでしょうか？それとも、歴史的なエリアまで広げる予定でしょうか？
A21	アンケート結果を踏まえ、 天王通りと本町筋を中心 に「津島市歴史的風致維持向上計画」で定めた重点区域を参考に検討していきます。
Q22	建て替えとかが難しくなるのでしょうか？
A22	建物を建築することに影響はありませんが、定められた規模を超える建物の外壁色彩や屋根などの 外観にルールが設定 されます。
Q23	補助金はでるのでしょうか？
A23	建築制限だけを設けるだけでなく、古くから受け継がれる町家建築物の 改修費補助 や、その他の建築物に対する 外観整備の税制の軽減措置 などの 補助制度を創設していく予定 です。
Q24	子供や若い世代をターゲットとした数字を聞いてみたいです。
A24	30歳未満の場合、 約72%の回答者が好きと回答 しています。
Q25	空き家率25%、水道基本料金のみだと思いますが、このうち水道料金が全く止められている割合はどれくらいでしょうか？
A25	水道使用量がない物件を空き家として算出しており、料金を止められている割合は把握しておりません。「空き家予備軍」というワークショップで使用した資料の表現は、 将来的に空き家になる可能性がある建物 という意味で使用しています。
Q26	空き家や危険な家屋に対して行政として現状何かしているのでしょうか？
A26	空き家問題の原因は所有者個々様々な問題で発生します。危険な空き家については行政から 建物所有者へ改善の指導 を行うほか、解体促進に向けて 解体費の一部を補助する制度の拡充 のほか、 宅建協会と協力して相談会を開催 し、 空き家バンクによる流通促進 を行い、空き家問題を総合的に取り組んでいます。

Q27	空き家より、「今住んでいる人の家をどう変えるか」「どうルールをあてはめていくのか」が課題ではないでしょうか？
A27	景観計画（建築規制）ができたことで、速やかな建替えを求める事は行いません。現在、お住まいの住宅等については、耐震性の問題やライフスタイルの変化による建替え等の際にこのルールを守っていただくことで、 緩やかに景観づくりができるもの と考えています。
Q28	数字があがるとどんな効果があるのですか？
A28	今回は現状を数字でわかりやすくしたものを紹介しましたが、空き家率の場合は割合が低くなれば、新しい建物が建った、あるいは空き家が解消され、空き家が管理された結果として、 まちの景観も良くなる という効果となります。
Q29	各事例を選んだ基準（天王通りとの類似性）があれば教えてください。
A29	愛知県内で景観計画の策定済、あるいは 景観関係の事業を実施している参道 を選びました。

